

オペレッタ・ガラコンサート

ウィーンより 愛をこめて

楽しいウィーン・オペレッタの世界へようこそ

2025年 4月12日[土]

【開場】14:00 【開演】14:30～

会場

北九州市芸術劇場 小劇場

北九州市小倉北区室町1丁目1-11 リバーウォーク北九州内

チケット

【全席自由】

2,500 円 (税込)

【当日】

3,000 円 (税込)

Program

●R. シュトルツ 作曲

“プラターにまた春がきて” “荒野に咲く最後の薔薇”

●レハール 作曲 / 吉岡 怜奈 編曲

台本 ヴィクトル・レオン / レオ・シュタイン

オペレッタ「メリー・ウィドー 陽気な未亡人」より

出演: ウィーンの薔薇合唱団

※曲目は都合により変更になる場合がございます。



森野 由み
ソプラノ



松森 光
バリトン



荒田 砂代子
ソプラノ



武内 麻美
ヴァイオリン



原田 哲男
チェロ



松森 詩乃
ピアノ

主催 / ウィーン会議 (議長 トーナス・カボチャラダムス)
協力 / ぎじゅつやさんのピアノ店 森野由みさんを支援する会
後援 / 北九州市・北九州市教育委員会
お問合せ / TEL 090-1014-8913 / 090-8355-6022 担当: ナカムラ
メールアドレス wienrose@icloud.com

森野 由み(ソプラノ)

YUMI MORINO



北九州市文化大使。東京新国立劇場を始め、オーストリア、ハンガリー、ドイツ、デンマークなどで、さまざまなオペラ公演に出演。またニューヨーク・カーネギーホールやウィーン楽友協会大ホール、ウィーンコンツェルトハウスなどで、ベートーヴェンの第九や、「レクイエム」などの宗教曲のソリストで出演。ウィーン芸術週間のコンサートや、多くのオペレッタのガラコンサート、ウィーン伝統のシュランメルンとの共演も多い。これまでに外山雄三、大野和士、秋山和慶、ジョルジョ・モランディ、ジュン・メルクル他著名指揮者と共演。ウィーンの民族楽器と親しまれている曲ばかりを集めたCD「LOVE FROM ウィーン」をリリース。

東京藝術大学声楽科卒業、同大学院ソロ科修了。文化庁オペラ研修所修了。文化庁在外研修員として、ウィーンへ2年間派遣。ウィーン国立音楽大学オペラ科を首席で修了。第1回ルチアポップ国際声楽コンクール第3位、エミーデスティン国際声楽コンクール第1位および最優秀賞。野村芸術海外文化助成受賞。福岡敬晃、毛利準、完戸真人、吉富淳子、ミミ・フライスラー、宮廷歌手ソーナ・ガザリアンに師事。二期会会員。現在ウィーン在住。

荒田 砂代子(ソプラノ)

SAYOKO ARATA



九州女子短期大学音楽科卒業。北九州シティオペラ《トスカ》(G・モランディ指揮)牧童役でオペラデビュー。《コジ・ファン・トゥッテ》フィオリディリージ、《ヘンゼルとグレーテル》ヘンゼル、《愛の妙薬》アディーナ、《奥様中》セルビーナ、《メリー・ウィドウ》ヴァランシエンヌなど、多数のオペラやオペレッタに出演。第41回九州サマー・フェスティバルにて九州交響楽団と共演。九州女子大学の依頼で学歌を録音、式典にて国歌・学歌を独唱、クルーズ客船「ばしふいっくびい」メインショー、その他九州・山口を中心に、多数のコンサートに出演。第56回西日本国際音楽コン

クールスウェーデン名誉領事賞。第9回藤井清水音楽コンクール優秀賞。北九州音楽協会会員。関門海峡合唱団・常任指揮者。北九州保育福祉専門学校非常勤講師。

武内 麻美(ヴァイオリン)

ASAMI TAKEUCHI



北九州市出身。明治学園、福岡教育大学芸術コースヴァイオリン専攻卒業。イタリア・ペルー・ジャ国際音楽祭参加、ディプロマ取得。元響ホール室内合奏団員。響シリーズ・響ホール室内合奏団演奏会にて、ジェミニアーニ/合奏協奏曲《ラ・フォルア》、同じく同楽団定期演奏会にて、ヴィヴァルディ/4つのヴァイオリンの為の協奏曲1st solo、日韓交流演奏会にてヴィヴァルディ「四季」、コジマ録音より発売のCD「Love, love, love, that is the soul of genius」等でソリストも務める。現在、福岡を拠点にソロ、室内楽、後進の指導等活動中。Aqua Trioメンバー、

Beethoven Sinfonietta、出雲フィルハーモニーコンサートマスター。

吉岡 怜奈(作曲家)

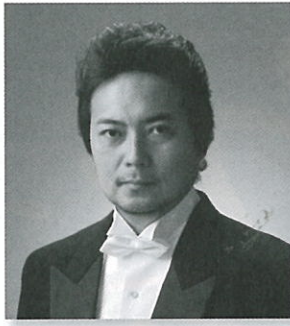
REINA YOSHIOKA



大分県出身。桐朋女子高等学校音楽科を卒業。卒業演奏会に出演。大分県立芸術文化短期大学に在籍後、2018年よりウィーン国立音楽大学ヴァイオリン科、2022年より同大学作曲科に在籍。Grand Prize Virtuoso International Music Competition 第1位、第42回霧島国際音楽賞併せて音楽監督賞、1st Emmanuel Duret Violin Competition 第4位、4th International Composition Award Vienna/Austria 第2位、Luigi Nono International Chamber Music Competition ソリスト部門第3位等を受賞。2024年1月、ウィーン放送交響楽団メンバーによる室内楽演奏会にて、自身のヴァイオリン八重奏曲が初演された。これまでにヴァイオリンを川瀬麻由美、加藤知子、エドワード・ツェンコフスキー各氏に、作曲をディートマー・シュルマン氏に師事。現在はヴァイオリンをエリナ・ヴァハラ、ニキータ・ポリングレブスキー、作曲をクララ・イアノツタ各氏に師事。

松森 光(バリトン)

AKIRA MATSUMORI



県立水俣高等学校合唱部にてソロ声楽を志す。熊本音楽短期大学(現平成音楽大学)声楽科を西内玲女史、平和孝嗣氏に師事し声楽科首席卒業。同専攻科及び研究科を修了。コンクール入賞歴や多くの演奏活動が評価され、「熊本市人づくり基金」からの助成を受け1996年に渡欧。ウィーン市立音楽院在学中にベルンドルフ歌劇場、州立バーデン歌劇場、ウィーン・アクトゥエント劇場、ホアン劇場などで、フォード役(ウィンザーの女房達)、グリエルモ役、ヘンゼルとグレーテルの父ペーター役などでオペラ舞台を踏む。同音楽院オペラ科卒業後、ウィーンフォルクスオーパー指揮者の

ウヴェ・タイマー氏に師事し、ウィーン国立音楽大学オペラ科レアーガング修了。舞台、教会でのソリストなどでも研鑽を積み、ピアニストR・ハイパー氏のレッスンを受けるなどドイツリートを精力的に学んだ。発声法をルドルフ・デ・ウィル氏に師事。2012年完全帰国。演奏拠点として北九州に移し広いジャンルを歌い、発声指導者、講師、合唱指揮者としても活動中。

原田 哲男(チェロ)

TETSUO HARADA



桐朋学園大学在学中の1990年に夢科高原音楽祭奨励賞受賞。同大学卒業後から2年間ドイツのマインツ大学音楽学部学ぶ。1997年からは米国ダラス市の南メソチスト大学より奨励金を得て、同大アーティストディプロマコースに入学。同年夏「チェロアンサンブルサイトウ」のメンバーとして日本・ヘルシンキ及びサンクトペテルブルグの世界チェロコンgresに出演した。1999年から2012年まで仙台フィルハーモニー管弦楽団首席チェロ奏者を務め、その間北沢道夫のチェロ協奏曲(仙台フィル委嘱作品)を初演のほか、定期公演等にソリストとしても出演した。そのほか仙台市民交響楽団、仙台・ニューフィルハーモニー管弦楽団といった地元のオーケストラとの共演、プラハ放送交響楽団宮城公演のソリストとして起用された。2001年第4回ビハールチェロコンクール3位、仙台フィルメンバーによるセレーノ弦楽四重奏団でも活躍。「松尾音楽助成賞」受賞、また原村室内楽セミナーにおいて「緑の風音楽賞」受賞。2006、2007、2014年には秋吉台室内楽セミナーに講師として招かれた。森川諱・木越洋、ユリウス・ベルガー、岩崎流の各氏に師事。2007年9月より文化庁海外派遣研修員として1年間ドイツに留学し、クリスティアン・ギガ氏(ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団第一ソロチェリスト)に師事。2013年から2016年まで九州交響楽団首席チェロ奏者を務め、ソリストとして九州交響楽団、また九州各地のオーケストラと共演。2016、2018年夏霧島国際音楽祭に出演。現在福岡市を拠点にフリーのチェロ奏者として、ソロ、室内楽、後進の指導など、幅広く活動を展開している。

松森 詩乃(ピアノ)

SHINO MATSUMORI



同志社女子大学音楽学科ピアノ演奏専攻卒業。ウィーンにて声楽伴奏の研鑽を積み、プライナー音楽院オペラコレペティ科、歌曲伴奏科を最優秀の成績で卒業。ディプロマを取得。これまでに乾由美子、平岩祥子、笠原進、Maximilian Cencic、Ralf Heiberの各氏に師事。朝日カルチャーセンター講師、「コーロ・ファンタジー」ピアニスト、北九州音楽協会「歌曲の会」ピアニスト。

ウィーンの薔薇合唱団(合唱指揮 岡崎勇樹)



歌が大好きな仲間たちは、日頃はそれぞれの音楽活動をしています。今回は、ウィーン音楽を演奏するということで興味を持たれた方達が、一堂に集まりました。ベートーヴェン交響曲第九番で舞台を踏んでいらっしゃる方から、ドイツ語は全く初めての方まで、一緒に、声高らかに、そして明らかに原語上演に挑戦しています。